

文部科学省科学技術振興調整費平成20年度採択課題

女性研究者支援モデル育成

# 『キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル』

日本大学は  
女性研究者支援と男女共同参画、  
および次世代女性研究者の育成  
を推進します！

日本大学女性研究者支援推進ユニット推進コア

〒102-8251 東京都千代田区五番町12-5 日本大学会館第2別館

E-mail: [shien@nihon-u.ac.jp](mailto:shien@nihon-u.ac.jp)

<http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/>

IT支援

子育て支援

キャリアUPサポート

連携と継続

ワーク・ライフ・バランス

意識改革

  
自主創造  
日本大学

## 科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成

# キャリアウェイ・ユニバーサル化 日大モデル採択にあたって

日本大学総長  
本課題総括責任者

酒井 健夫

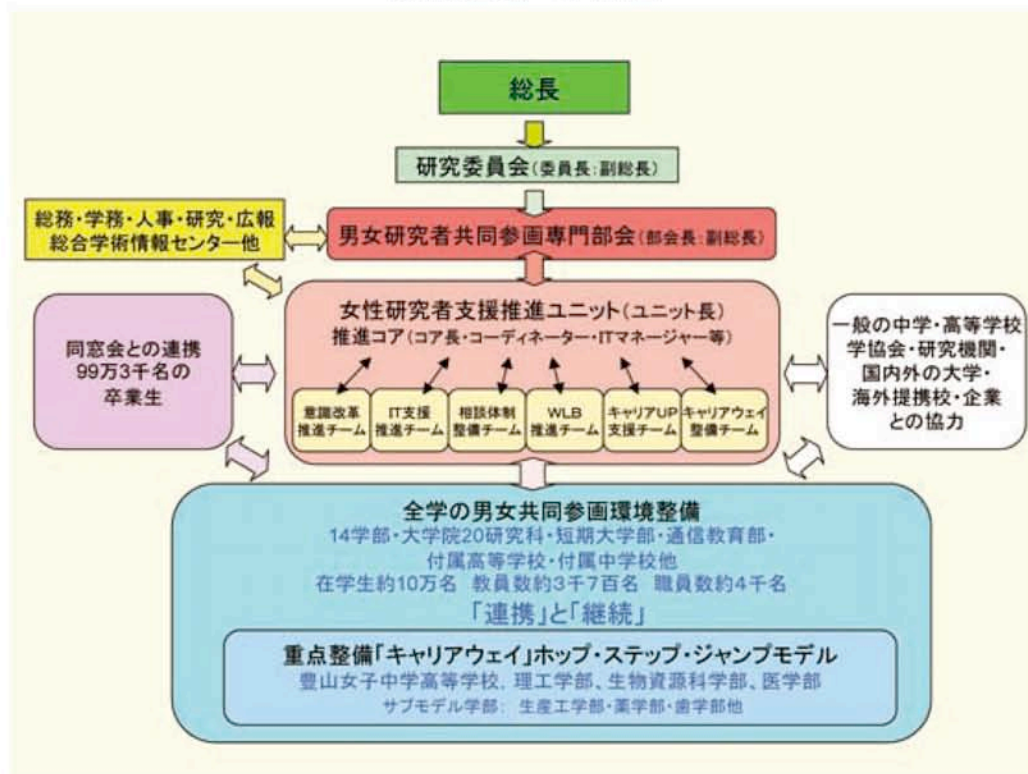


日本大学が申請した平成20年度文部科学省科学技術振興調整費の女性研究者支援モデル育成（課題：キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル、平成20年度より3年間）が採択されました。

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費です。その中のひとつである「女性研究者支援モデル育成」は、女性研究者がその能力を最大限に発揮できるよう、大学等を対象として研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、その能力を十分に発揮しつつ研究活動を行える仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援するものです。

日本大学は、産業界を含む多様な女性研究人材の開発と次世代の継続的な育成のために、女子中学生や高校生に理系選択支援と職業体験等のキャリア教育の推進、国際的視野を広げるキャリアUP支援、病児保育等の両立支援、ITを利用した研究・生活・会議支援などを重点的に実施します。また、女子学生や大学院生にキャリアパス提示よりも実効性のある多様な理系職業選択とその継続支援である「キャリアウェイ」を整備して、持続的なイノベーション創出を目指します。そのために全学が一体となって、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境整備と男女共同参画に基づく女性研究者支援を推進して参ります。

### 関係組織・体制図





# ご挨拶

日本大学副総長（研究担当）  
日本大学工学部長  
日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会長



出村 克宣

資源に乏しい日本が国際社会で生き残っていくためには、我が国保有の科学技術に立脚した優れた人材の育成とその活用が極めて重要となります。また、少子高齢化社会を迎えた現在、女性や外国人を含めた多様な人材の活用がイノベーション創出のために重要であるとされ、男女性別にかかわらず、個性と能力を十分発揮できる「男女共同参画社会」の実現が求められています。そのような社会を構成する人材の育成機関である大学においても、近年、大学生や大学院学生に占める女子学生の割合は高くなってきており、教育・研究分野での女子学生の育成と活用が新たな課題となってきました。

日本大学は、日本法律学校を前身として1889年に創立され、大正9年に新大学令による大学に昇格した際、素早く女子学生に入学の道を開きました。現在では14学部83学科、大学院20研究科、短期大学部、通信教育部、附属高等学校および中学校等、在学生約10万名と教職員8千名弱を擁する、日本最大規模の私立総合大学です。これまでに100万名以上の卒業生を輩出し、社長の数が多いなど産業界への貢献も大きいことで知られています。また全体の3分の2が、理工系・医歯薬系・農学系、いわゆる理系の学部という特徴があります。女子学生の比率は全体では学部約30%、大学院約25%ですが、専門分野によって比率に差があり、理工系学部ではまだ10%程度です。

以上のような背景に鑑み、日本大学は、平成20年度より、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「（課題名）キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル」を提案して採択され、全学一体となって、産業界を含む多様な女性研究人材開発と次世代の継続的な育成、男女共同参画・女性研究者支援のユニバーサル化をめざして推進活動を行っています。これらの整備推進はもちろん女性だけでなく、男性にとっても働きやすく学びやすい魅力的な大学を作る上で、重要な活動であると認識しております。今後とも、多様な関連分野の教育・研究機関並びに、それに携わる教育・研究者との連携のもと、本事業を推進してまいります。

推進ユニット長  
（日本大学医学部皮膚科教授/  
駿河台病院皮膚科部長）



落合 豊子

平成22年4月から女性研究者推進ユニット長に着任しました。このユニットでは、今までに日本大学の男女共同参画の環境整備、女性研究者支援体制の拡充、保育支援体制の検討など多くの課題を一步一步進めてきました。いずれも、次世代の女性研究者を育てる上で重要な問題であり、これらが解決されれば、女性のみならず男性研究者にとっても働きやすいワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境になるはずで、す。今秋には第2回日本大学男女共同参画国際シンポジウムを予定しており、私たちは男女ともに能力を最大限に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざします。

推進ユニット推進コア長  
（生産工学部准教授）



野呂 知加子

日本大学女性研究者支援推進ユニットの中核を担う推進コアは、男女共同参画および女性研究者支援を進めるための企画・立案・実行を担当しております。推進ユニット内の6つのチーム（意識改革推進・IT支援推進・相談体制整備・WLB推進・キャリアUP支援・キャリアウェイ整備）と協力し、学内の部科校・関係部署・同窓会と連携して、この事業を推進して参ります。また、国内外の諸機関や学協会と連絡を取り合ってネットワークを形成し、男女共同参画と女性研究者支援を日本に世界に広めるユニバーサル化推進のお手伝いをしたいと考えております。推進コア室は市ヶ谷の日本大学第二別館にあります。皆様どうぞお立ち寄り下さい。

# 『キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル』構想内容

本構想  
の  
目的

産業界を含む多様な女性研究者の人材開発  
男女共同参画・女性研究者支援のユニバーサル化  
次世代の継続的な育成

具体的取り組み

## 意識改革

全学的な推進体制構築と意識環境整備を実施します。

- 相談体制の充実
- 女性研究者支援推進体制整備
- 意識改革講演会・男女共同参画シンポジウム開催

## 次世代女性研究者育成

理系選択支援（入口）から産業界を含めた多様な職業選択と継続（出口）までの実効的支援により、次世代の継続的な育成とイノベーション創出を目指します。

重点推進整備

### 「キャリアウェイ」3ステップモデル

女性研究者の増加と地位向上



入口から出口までしっかりサポート

多様な人材の積極的な活用によるイノベーション創出

男女ともに能力を最大限に発揮できる男女参画社会の実現

## IT支援

ITを利用した職場環境整備に努めます。

- 18キャンパスに点在する女性研究者をネットワーク化
- ISMS準拠による高いセキュリティを確保
- 時間の有効活用
- コミュニティ形成や子育て・生活相談体制の強化

ブログ・掲示板

ネット遠隔会議

女性研究者支援 SNS (Social Network Service)

情報収集・発信

ワークシェア・在宅勤務

## キャリアUPサポート

女性研究者の積極的採用と地位向上のために、実力を高め国際的視野を広げるキャリアUP支援を行います。

出産・育児 | 子育て | 介護

ライフイベント中でも継続・発展できるよう支援

女性研究者の積極的採用  
地位向上  
実力向上

継続研究

- 研究補助者配置
- メンタリング・コーチング
- 業績作成支援
- ネットワーク形成促進
- 研究費獲得戦略
- 国際化推進

## 育児両立環境整備

育児支援事業を実施し、女性研究者が多様な働き方のできるワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境整備に努めます。

- 保育室整備の調査・検討
- 病児保育の調査・検討
- ワークシェアや短時間勤務などの検討



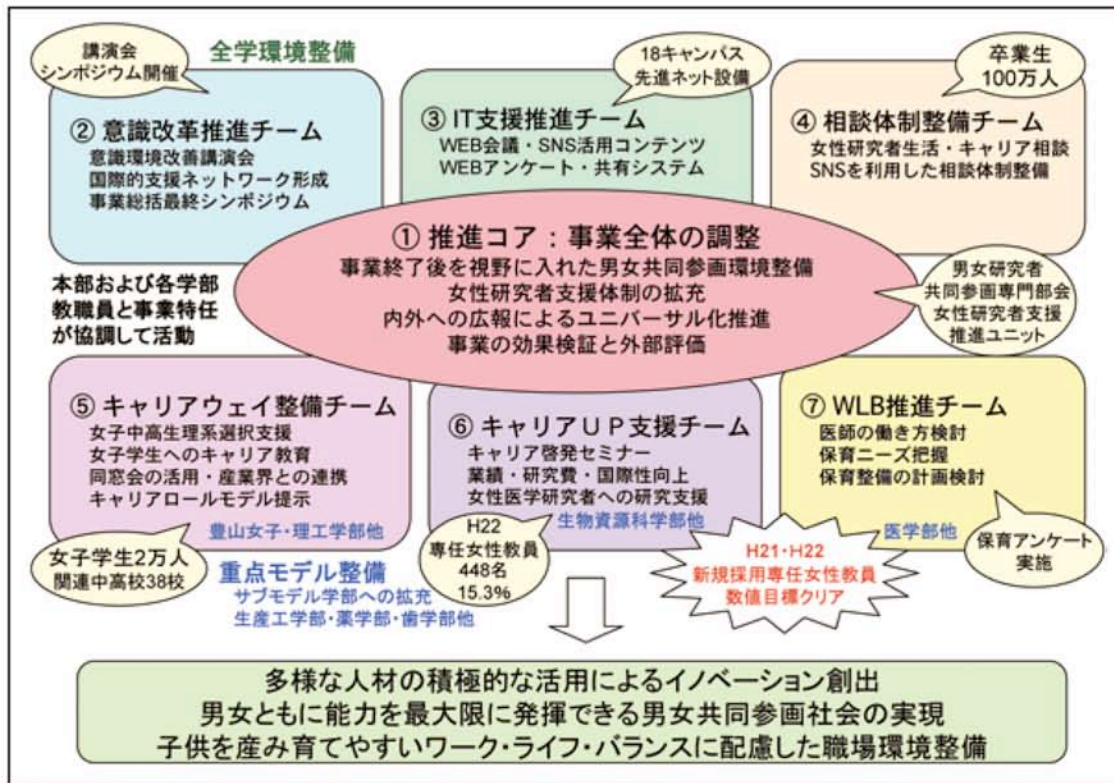
## 連携と継続

学内関係部署、多数の部科校、校友会及び産業界との連携により、女性研究者の継続的な支援を内外に広めます。

- 多様なキャリアを持つ卒業生100万人の人材ネットワークの活用

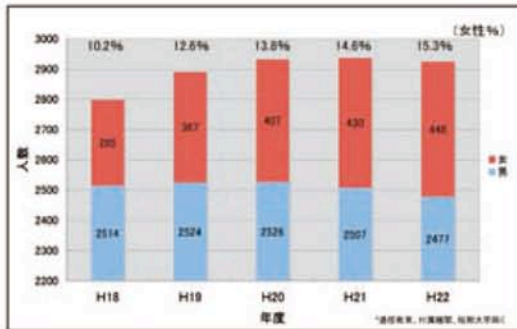
子供を産み育てやすいワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境整備

# キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル実施内容



## 日本大学の女性教員比率

専任教員数の変化



平成18年度から5年間で、女性教員数は163名増加、女性教員比率は10.2%から15.3%に増えている

専任教員新規採用女性比率

H20年度女性教員比率 専任全体 13.9% (407/2933)	
理工学部	H20年度女性教員比率 8.0% (32/401) 新規採用数値目標 20% H21新規採用実績 27.6% (8/29)* H22新規採用実績 40.0% (10/25)** <small>*助手以上 *助教以上33.3% (2/6)</small>
生物資源科学部	H20年度女性教員比率 9.7% (25/259) 新規採用数値目標 30% H21新規採用実績 33.3% (3/9)* H22新規採用実績 38.9% (7/18)** <small>*助手以上 *実習助手も含めた場合59.3% (11/27)</small>
H22年度女性教員比率 専任全体 15.3% (448/2925)	

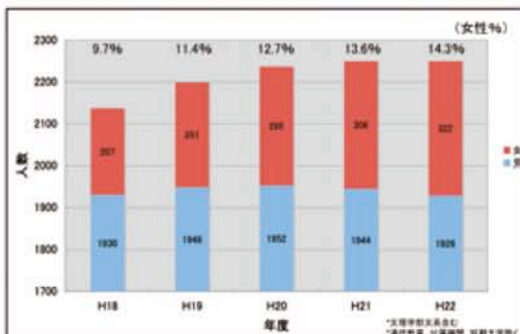
女性教員数

平成22年は平成18年に比べ

**163名増加**

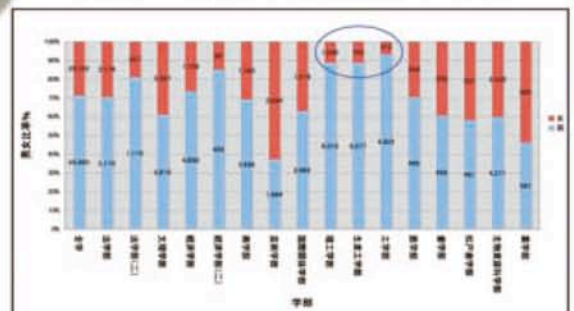
比率は10.2% → 15.3%に!

専任教員数(理系9学部)の変化



平成18年度から5年間で、理系9学部女性教員数は115名増加、女性教員比率は9.7%から14.3%に増えている

平成22年度学生学部別男女比率



全学女子学生比率28.7%(2万人)

理工系は女子学生が少ないので、次世代育成の必要あり

## 女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム

開催日：平成21年11月25日（水）・11月26日（木）  
会場：日本大学会館2階大講堂及び会議室等

テーマ：「女性研究者支援の新時代を迎えて」

### 【25日】ポスターセッション

- 「女性研究者支援モデル育成」事業
  - ・平成19年度採択機関の取組み状況
  - ・平成20年度採択機関の取組み状況

### 【26日】平成21年度採択機関の取組み状況

- 「女性研究者養成システム改革加速」事業
  - ・平成21年度採択機関の取組み状況
  - 分科会
  - ・今求められる保育（学内保育・病児保育・学童保育）
  - ・支援から加速、そして今後に向けて



## 第2回私立大学合同シンポジウム

開催日：平成21年12月4日（金）  
会場：津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス 津田ホール  
発起人校：津田塾大学  
幹事校：慶應義塾大学／東海大学／日本大学  
参加校：東京女子医科大学／日本女子大学／早稲田大学  
上智大学／東京都市大学／東邦大学 <採択年度・五十音順>

テーマ：「男女共同参画の輪をさらに広げよう」

- 【特別講演】（敬称略）  
白井 克彦（日本私立大学連盟会長・早稲田大学総長）
- 【基調講演】（敬称略）  
内海 房子（NECラーニング株式会社代表取締役執行役員社長）  
河村 潤子（文部科学省私学部長）

### 10 私立大学男女共同参画推進のための共同宣言

- 1 私たちは、教育・研究・就労場における男女共同参画を実現するために、全学をあげて、教職員・学生等の人的構成の男女格差を是正し、大学運営の意思決定における男女共同参画の実現をめざします。
- 2 私たちは、各大学の教職員・学生等が、出産・育児・介護と教育・研究・就労を両立させることができるための効果的で具体的な措置を講じます。
- 3 私たちは、男女共同参画社会における学問・研究が、世界をリードし地球規模で生ずるさまざまな問題の解決のために大きく寄与するものであり、かつ、男女共同参画の実現が多様な生の共存にも貢献するものであることを自覚しつつ、今後とも、新たな社会の創造に向けた知の結集・国際性豊かで優れた人材の育成をめざします。
- 4 私たちは、学術分野での男女共同参画を強力に推進するために、女性研究者の積極的採用、キャリア形成支援、育児・介護等と研究・教育の両立支援などについて、私立大学としても社会に対する重大な責務と認識し、その実現に向けて真摯に努力します。

## 第1回日本大学男女研究者共同参画国際シンポジウム

開催日：平成21年10月8日（木）／会場：日本大学会館2階大講堂  
テーマ：「女性研究者の活力を生かす  
～女性の研究リーダーを育てるには～」

- 【第一部 基調講演】（敬称略）  
猪口 邦子（元少子化男女共同参画大臣、日本学術会議会員〔政治学〕）  
國井 秀子（リコーITソリューションズ株式会社 取締役 会長執行役員）  
Iris Wiczorek（Director, German Research Foundation (DFG), Japan Office）  
Patricia Rankin（Associate Vice Chancellor, Faculty Diversity and Development, Office of Diversity, Equity and Community Engagement, University of Colorado at Boulder, USA）
- 【第二部 課題提起】（敬称略）  
野呂知加子（日本大学女性研究者支援推進ユニット推進コア長・生産工学部准教授）  
上瀧恵里子（九州大学高等研究機構研究戦略企画室・准教授）  
有賀 早苗（北海道大学副理事・女性研究者支援室長・農学研究院／生命科学院教授）  
朝長 宣光（日本電気株式会社（NEC）執行役員）



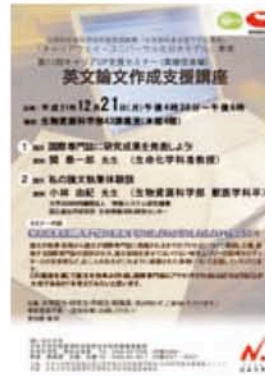
## キャリアウェイ整備 & キャリア UP 支援



ロールモデル集の作成



女子中高生理系選択支援



キャリア啓発セミナー-英文論文作成編

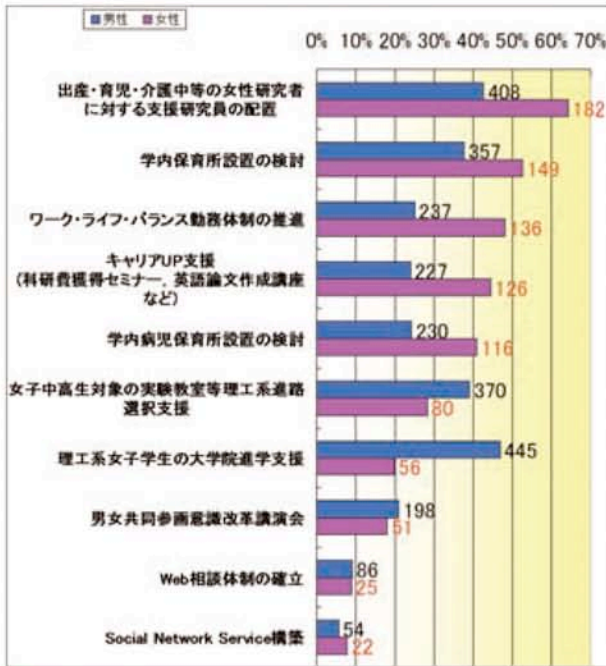


ロールモデル講演会

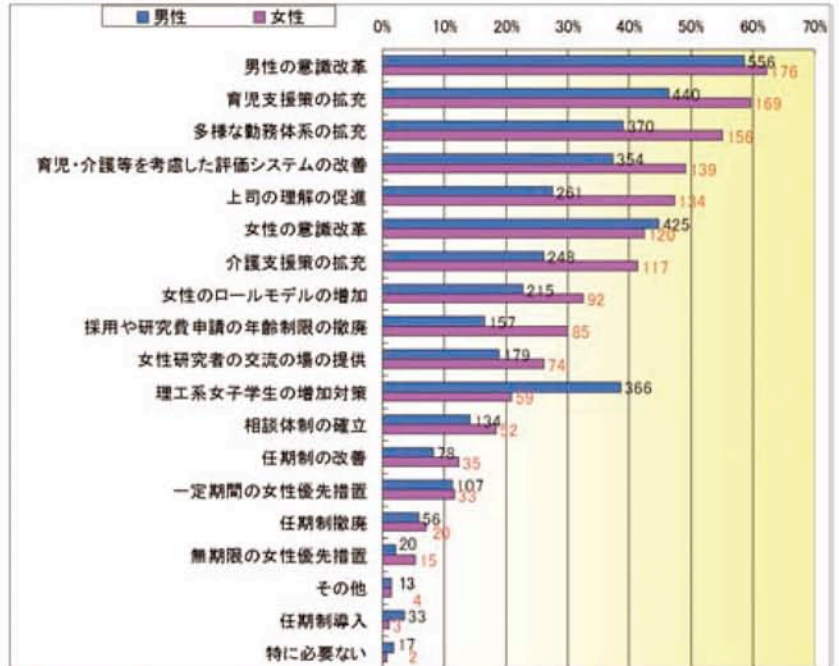
## Web アンケート実施

概要：日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会 / 女性研究者支援推進ユニット推進コアが全教職員を対象に、科学技術分野における男女共同参画について意識調査を実施

実施期間：平成 21 年 2 月 2 日（月）から 3 月 13 日（金）



■日本大学女性研究者支援推進ユニットに対する期待

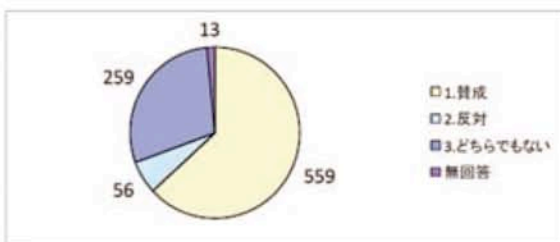


■科学技術分野において今後期待される施策

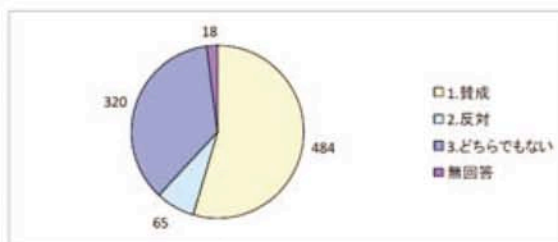
## 学内保育所設置および病児保育実施に関するアンケート

概要：日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会 / 女性研究者支援推進ユニット推進コアが学内の「子育てと仕事の両立環境整備」のために保育所設置と病児保育実施の必要性について調査を実施

対象者：勤務先が千代田区内にある本学教職員



■駿河台地区で学内保育所を実施することに対して



■駿河台地区で病児保育を実施することに対して





振興調整費



自主創造  
日本大学



女性研究者支援推進ユニット

日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会／女性研究者支援推進ユニット  
〒102-8251 千代田区五番町 12-5 日本大学会館第 2 別館  
Tel & FAX: 03-5275-9616 E-mail: shien@nihon-u.ac.jp  
<http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/>

